

SUPER MERCEDES

美しくも獰猛なメルセデスへの仕上げ方



ユーロモディファイの
最新トレンドを知る
注目イベント"7"

7

es4

エスフォー

EUROMOTIVE MAGAZINE

69

2017 JULY

刺激的でセンス溢れる
ユーロスタイルを提案します

Cover Story
BMW M4 COUPE

[TOP ISSUE]
SPEED KING!!

ターボ全盛だからこそその
絶対的パワーの俊足仕様力スタム

BMW M4/PORSCHE 997 TURBO

AUDI RS7 SPORTBACK/AUDI S4

VW GOLF VII GTI/AUDI S1/AUDI TT ROADSTER

VWに首ったけ!

GOLF VII R/GOLF R VARIANT
PASSAT SEDAN/GOLF VII GTI

Dazzling AUDI

センスがモノをいうアウディモディファイ



AMAZING BMW MODIFIED

足回りチューンからボディ加工、ペイントetc.
現代的仕様にアップグレードする方法

435i Gran Coupe/325i Touring/640i
M6 Cabriolet/M4/M3/640i Gran Coupe

AMAZING
BMW

BMW 640i COUPE ENERGY COMPLETE EVO13.1

ワークスオーバーフェンダーではない
ワイドボディが美しい

AMAZING BMW MODIFIED

Chapter #03



エナジーモータースポーツの
オリジナル過ぎるコンプリート!!

NER>>永田祐也 ザン (640i Coupe)
LL>>Garage EVERYN (ガレージエブリン世田谷店) {03} 3707-3800 www.everyn.com
OTO>>RYUUSEI IWABE (渡部竜征/ウィズフォト) TEXT>>AKIRA OKAMOTO (岡本晃/オフィスアヘッド)

BMW M6 Cabriolet ENERGY COMPLETE EVO
オープンエアモデルも
躍動感あふれる大胆カスタム



AMAZING BMW MOD

Chapter #04

AMAZING BMW MODIFIED

Chapter #03

プリートEVO13.1の初号機を手に入れたラッキーガイ

エナジーモータースポーツの最新仕様キットの第1号ってこと(笑)。以前からデザインが気になっていたんですが、トにひと目惚れしちゃいました。コーナー、ホイールがセットになったお手頃マートカーだったことに加えて、アイアンなバーミリオンレッドボディとマットレム魅力でした」とは、オーナーの永田

タースポーツとは、東京と大阪に拠点専門にコンプリートカーやバーツ販売「ガレージエブリン」のオリジナルプラン「ボディキットのEVO13.1をインストールへは、エナジーモータースポーツなら

ではの独創的なデザインセンスが随所に散りばめられていた。これなら流行に敏感なビーマーたちからの注目度が高いのもうなずける。

まず目に飛び込むのが、立体的な造形を施したフロントバンパー。大きく開いたダクトにうねるように造形したフィン、幾重にも交差したボトム形状により、刺激的な顔立ちを作っていた。ラウンドした両サイドのフィンには、新製品の側面発光するLEDデイライトをマウント。ナイトクルージングでの目立ち度は相当なハズだ。素材として、FRP+カーボンを巧みに組み合わせているのも特徴。この手法はリアバンパーにも採用されている。中央にメッシュ張りしたダクト、両側から出したマフラーを際立てるような造形とリベット打ちしたカーボンが、刺激的なアリスト風に仕立ててい

る。

もうひとつ注目したいのが、ワイド感を高めているフェンダーだ。フロントフェンダーにはダクト風のデザインをほどこしたパネルを、リアには20mmワイドになるオーバーフェンダーを装着。「いかにも」的なオバフェンが多いなかにあって、ボディラインを崩すことなくスマートにワイド感を主張するデザインは必見だ。ホイールには、足長ツインスポークが美しいエナジー・インディビジュアル・タイプ5 (F:20×8.5J R:20×9.5J) をマウントし、エナジーモータースポーツのオリジナルダウンサスを組み合わせている。

「あえてバツバツなサイズやローダウンではなく、クルマが持つ高級感を引き出したかった」というオーナーの想いがカタチになった1台である。

SPECIFICATIONS BMW 640i COUPE 2012

WHEEL ENERGY MOTOR SPORT>ENERGY INDIVIDUAL TYPE 5 F:20×8.5 R:20×9.5 Finish:Dark
>Extreme Contact DWS06 F:245/35R20 R:265/35R20
GY MOTOR SPORT>Energy Ms Sports Spring
MOTOR SPORT>Energy Ms Muffler
MOTOR SPORT>Evo13.1 Body Kit (Front Bumper Spoiler,Front Fender Panel,Side Spoiler,Trunk Spoiler),Rear Over Fender,Day Light

最新仕様のEVO13.1ボディキットは、立体感のある造形がスポーティー。フロントバンパーの開口部に側面発光するデイライトを装着。

ボトム上を絞り込み、軽快なサイドビューを演出。フロント&リアともにフェンダーラインとのつながりが美しい。躍動感あれる形状とリベット打ちしたカーボンが刺激的な後ろ姿を創出する。

BBSジャパンとの国内初コラボモデルは5本ツインスポークのコンケーブ

エナジーモータースポーツが一躍脚光を浴びたのは、近未来的なデザインを巧みにアレンジしたサイバー・エディションEVO i8の登場からだった。2015年末に登場したこのモデルは、立体的に造形したボディデザインに、クロームラッピングしたボディで注目された。昨年のオートサロンで実際に目にした人も多いかも知れない。

そのEVO i8がマウントしていたホイールが、このM6カブリオレに装着されている「エナジーモータースポーツ×BBS・フォージドコンケーブ21」である。ネーミングのとおり、BBSとエナジーモータースポーツがコラボしたホイールで、BBSジャパンとしては国内初のコラボモデル。「BBSといえばクロスメッシュデザイン!」という固定観念ができている人も多いだろうが、

このホイールはエナジーモータースポーツ同様、BBSのこれまでのイメージを覆すツインスポークデザインが特徴だ。

深く落とし込んだセンター部から力強くコンケーブするシャープなツインスポークは、リムを乗り越えるかのように伸びていく。鋭角なスポークサイドを一部落とし込んだり、ツインスポークの根元断面を見せるなど、緻密なデザインワークがヒシヒシと伝わってくる。スポークはもちろん、バルブキャップ、ビアスピルトといった細かい部分にもBBSの刻印をおこり、コラボモデルであることを主張。段付きリムと合わせ、鍛造マルチピースホイールとしての高いクオリティーを感じさせてくれる。

撮影したM6カブリオレにマウントしたフォージド

コンケーブ21は、ともするとツイン5スポークでは線が細いかと思いつか、伸びやかで力強いスポーツと段付きリムが大きなボディに負けない存在感を誇っていた。

M6カブリオレには、エナジーモータースポーツのボディキットEVO12.1を装着。大きく開いたダクトと立体感のあるフィン、随所に見えるカーボンがストックのイメージを守りつつ、よりエレガントでスポーティなスタイリングに仕立てている。オリジナルなボディ造形を実現するのは、単にエアロパーツの開発だけでなく、匠の技を持つ職人による計算され尽くされたフィッティング技術による。これこそがバーツ開発のエナジーモータースポーツを擁するガレージエブリンならではの強みなのである。

SPECIFICATIONS BMW M6 Cabriolet 2013

WHEEL ENERGY MOTOR SPORT>BBS>Forged Concave 21 F:21×9.0J R:21×10.0J color:Brushed
TIRE CONTINENTAL>>Sport Contact 6 F:265/30ZR21 R:295/25ZR21
SUSPENSION ENERGY MOTOR SPORT>>Energy Ms Sports Spring
EXHAUST INNOTECH>>Full Exhaust System
EXTERIOR ENERGY MOTOR SPORT>>Evo12.1 Body Kit (Front Bumper Spoiler,Front Fender Panel,Side Spoiler,Rear Full Bumper Spoiler,Trunk Spoiler,Day Light)

①キドニーグリルのラインを活かし、大きく広げたダクトを持つフロントバンパースポイラー。アンダーリップにカーボンを取り込み、レーシーなムードを高めている。両サイドには側面発光タイプのLEDデイライトをおこる。②BBSジャパンとコラボして仕上げた鍛造ホイール。フォージドコンケーブ21 (F:21×9.0J R:21×10.0J)。③センターにメッシュ張りしたダクトを備え、マフラー上部のリベット打ちしたカーボンが刺激的なりアバランバー。小ぶりなりアウティングとともに、スポーティーなりスタイルをつくる。④いったん絞り込みボトムに向かって広がることで安定感のあるスタイリング描くサイドステップ。

AMAZING BMW MODIFIED

Chapter #04

079



晴天に恵まれた富士スピードで
オールジャンルのクルマ祭り開催

MOTORAFAN FEST 2017 >>>>

MOTORAFAN FEST 2017
DATE>>04/29/2017
VENUE>> 富士スピードウェイ

『体感できる“試乗”最大のクルママツリ』と銘打ち、新車試乗会や気になる車種の乗り比べ、プレミアムカー同乗試乗と、実際に乗って楽しめるコンテンツが多数用意された「モーターファンフェスタ 2017」。

会場が富士スピードウェイということで、往年のマシンがコース上を駆け抜けるアトラクションや、ホームストレートに新旧名車を勢ぞろいさせたスーパーグリッドウォークなど、サーキットを使ったそ見どころも多数。

さらにパドックエリアには、欧州車、国産車、商用車、Kカーなど、さまざまなジャンルのチューナーやパーツメーカーも顔をそろえていた。ここでは、そんな欧州チューナーやショップデモカーをピックアップ。1月のオートサロンから3か月ほど経って、さらなる進化を遂げているデモカーも多数。惜しくもオートサロンに間に合わなかったなんてパーツがお披露目されてたり、なかなかに見どころのあるイベントとなった。

Garage ebrym



ガレージエブリムは、エナジースタイルのコンプリートカーであるEVO i8とM6カブリオレをディスプレー。たくさん的人が足を止めて見入っていた。奥のM6カブリオの詳細は78ページへ。

ADVENT



M2ベースのACS2 Sportがひと際目を引いたアドベントブース。フロントのカナードやリアのガーニーフラップなど、同社のM4よりもちょっと刺激強めな感じがM2のキャラクターにぴったり。

3D design



オートサロンでデビューを果たしたM2が、進化を遂げていた。マフラー、ハイフロー、インタークーラーなどのパーツが装着され、戦闘力をup!